

市消防本部の隊員が全国消防救助技術大会に出場

7月18日に神奈川県厚木市で開催された第53回消防救助技術関東地区指導会「水上の部」に出場し、団体種目「溺者救助」及び個人種目「複合検索」において優秀な成績を収めました。これにより8月30日(土)に兵庫県三木市で開催される第53回全国消防救助技術大会に出場することとなりました。

出場隊員及び訓練内容

☆小和田警備第一課海岸出張所 平子将人、根本広大、長橋祐大

出場種目：溺者救助(団体種目)

訓練内容：救助者及び補助者が協力して小型浮環に救助ロープを結着後、補助者が浮環をプール内に投下、救助者がスタート地点から25m先の要救助者の位置まで搬送し、要救助者をつかまらせ、補助者が救助ロープをけん引し救助するまでの安全・確実・迅速性を評価するもの

☆小和田警備第二課鶴嶺出張所 小松真也

出場種目：複合検索(個人種目)

訓練内容：マスク、スノーケル、フィンを着装し、スノーケリングで障害物(救命浮環)を突破しながら水中に沈められたリングを検索して、引き上げるまでの安全・確実・迅速性を評価するもの

関東地区指導会の目的

本指導会は、1都9県(関東地方及び長野県、山梨県、静岡県)各消防本部の代表消防職員が平素鍛えた救助技術の成果を発表するとともに、互いの知識・技術を競い学ぶことを通じて、複雑多様化する災害現場に即応できる高度な救助技術と強靱な体力・精神力を養い研さんを図ることを目的としています。

訓練開始から要救助者救出までの所要時間のほか、減点方式による採点により安全・確実・迅速という3つの観点で評価されます。

【全国大会特設 HP】

<https://rescue-meet-kobe2025.jp/>

